

矯風会
夏のつどい

TALK&PIANO

打ち捨てられた者の「憲法」

～わたしらしく生きるために～

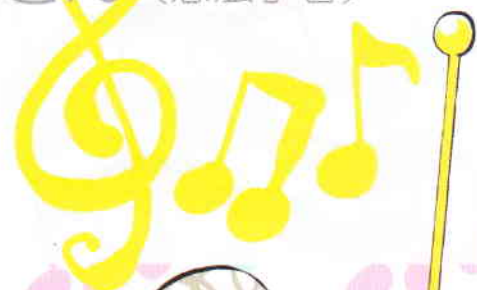
「憲法」は誰のためにあるのでしょうか？

一人ひとりがたいせつにされ、ともに生きることはできるのでしょうか？

税金を払っているにもかかわらず、選挙権は与えられていない人たちも、日本に住んでいます。憲法で保障されていない「小さくされ、声を奪われた人たちのために」憲法があるということ、憲法学者の齊藤小百合さんと、在日三世のピアニスト崔善愛さんのトークをとおして、また崔さんのピアノを聴きながら、一緒に考えましょう。

トーク：齊藤小百合さん（憲法学者）

ピアノ：^{チェ}崔^{ソン}善^エ愛さん
（ピアニスト・在日三世）



2020年7月6日（月）

午後1時～4時（12時半開場）

@矯風会館1階ホール（裏面に地図）

チケット前売り：1000円
当日：1200円
申し込み締め切り：6月30日



賛美と祈りの時 11時～ 1Fホール

メッセージ：増田琴牧師（経堂緑岡教会）

ランチタイム 11時半～12時半 昼食は各自でご用意ください。

地下集會室でどうぞ。ミニバザーあり。

主催：公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会 東京都新宿区百人町2-23-5 電話03-3361-0934

問い合わせ先：電話/FAX 03-3333-7983（きたむら）

講師紹介



斉藤小百合

国際基督教大学教養学部卒業、同大学大学院行政学研究科 修士課程、博士課程修了（学術博士）。
恵泉女学園大学助教授、米国ミシガン大学ロースクール客員研究員等を経て、現在、恵泉女学園大学人間社会学部教授。
著書に『打ち捨てられた者の「憲法」』（いのちのことは社、2019年）。
共著に『憲法の尊厳—奥平憲法学の継承と展開』（日本評論社、2017年）、
『学生のためのピース・ノート』（お茶の水書房、2013年）、
『現代日本の憲法』（法律文化社、2009年）、
『憲法の現在』（信山社、2005年）など。
学生時代から活動を行っている公益社団法人自由人権協会（JCLU）理事。



崔 善愛（チェ・ソンエ）

ピアニスト。北九州市出身。在日三世。
愛知県立芸術大学音楽部ピアノ科卒業。同大学院修了。
米国インディアナ州立大学院へ3年留学。
21歳のとき指紋押捺を拒否。そのことを理由に「再入国が不許可」になり、留学の際永住資格をはく奪された。二つの裁判を最高裁まで闘い、2000年指紋押捺制度廃止によって「特別永住資格」を取り戻した経験を持つ。
現在、『週刊金曜日』編集委員。日本ペンクラブ会員（平和委員）。
明治学院大学・恵泉女学園大学・ルーテル学院大学非常勤講師。
主な著書「自分の国を問いつづけて」（岩波ブックレット）。
「父とショパン」（影書房）、CD「ZAL」。「Piano, my Identity」



JR大久保駅北口下車 徒歩2分。
改札を出たら道路（大久保通り）を渡る。
ドラッグストアと富士そばの間の細い道に入る。
頭上にはJRのガードあり。
約20メートル先の右手のクリーム色4階建ての建物が矯風会館。

JR新大久保駅からは徒歩5分。
※会場の都合上、濡れた傘は入り口にてお預かりいたします。
ご了承ください。

●前売りチケット申し込み方法

下の申し込み用紙にご記入の上FAXで送信ください。
代金は当日、受付にてお支払いいただきます。

前売りチケット（1,000円）FAX申し込み用紙

送信先FAX番号 03-3361-1160 【申し込み締切：6月30日】

2020年7月6日（月）矯風会夏のつどいTALK & PIANOに参加します。

氏名:

チケット枚数:

電話番号:

※時節柄、延期／中止のご連絡のため、連絡先は必ず記入をお願いいたします。